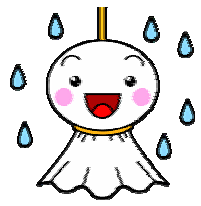
ふれあい中須

平成２１年
６月１５日号

編集発行
中須をよりよくする会
中須公民館



●総合グラウンド清掃 お疲れさまでした

六月七日(日)、午前八時より、総合グラウンド周辺の草刈り、清掃を行いました。

普段、みんなで利用している施設。きれいになると、気持ちがいいですね。

グラウンド清掃作業終了後、中須バス停前のプランターの花の植え替えを行いました。

きっと、マリーゴールドの花が、道行く人を楽しませてくれることでしょう。

みなさん、お疲れさまでした。

●まちの先生募集！

公民館では、四月より『放課後子ども教室』を開講しています。（月・水・金曜日）

この事業は、小学校の児童が、放課後、地域の方々（まちの先生）に見守っていただきながら、安心して活動できる空間づくり、温かい地域づくりを目指すものです。

いっしょに活動していただける方（まちの先生）を募集します。

◆日数　月二回程度
◆時間　放課後(午後五時三十分まで)（月・水・金曜日）
◆内容　児童の活動の見守り等

※詳細は中須公民館　福田まで
TEL８９－０３０１

なかず再発見！

～湖底に眠る幻の滝『あらたまの滝』～の巻

第14回

あらたまの滝　（平成 19 年 12 月 25 日撮影）

今回の再発見は、湖底に眠る幻の滝、『あらたまの滝』です。『あらたまの滝』は、阿田川のバス停から、戻路方面へと進み、菅野ダムに注ぐ阿田川の下流にあります。この滝は、昭和四十年に、菅野ダムが建設されたことに伴い水没してしまい、現在は、その湖底で静かに眠っています。

冬の渇水期、数年に一度、ダムの貯水率が三十パーセント前後になった時、その壮大な姿を現すといい、ここ最近では、平成十九年の冬に、高さ十メートル、岩盤から三本の筋に分かれ勇壮に流れ落ちるその姿が目撃されています。

昭和３０年頃の滝

かつては、高さが二十メートル近くあったそうですが、湖底に長い間水没していたことにより、土砂の堆積や侵食で少しずつその姿を変えてきているようです。次は、私たちにどんな姿を見せてくれるのでしょうか？

風でゆれる菅野湖の水面を眺めながらこの湖底に眠る滝のことを考えていると少し複雑な気持ちになってきました。ダムができたことで多くの人々が恩恵を受けたその陰で、姿を消してしまった『あらたまの滝』。そして、何年かに一度だけその姿を見せるというこの滝に無性に会いたくなりました。でも、滝を見ることができるってことは、水不足ということになるし・・・。

『う～ん・・・でも、やっぱり見てみたいなぁ・・・。』

（写真・藤井豊人さん
文・公民館主事　福田）

ちょっとひとこと

祖母の故郷のこの地に赴任し、二年間の休職の後に三十一年目の教師生活をスタートさせた。対応に変化があり、学校は地域社会が融合し、二つの円が中央で重なり合う円の外側にそして包み込む大きな円へと変化しています。

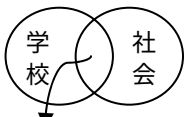
図式化すると左記のようになるかなと思います。

◆学校を取り巻く環境の変化

昭和の時代

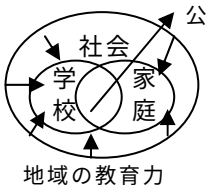
信頼度が高かった

平成の時代



学社融合

現　在　コミュニティの拠点



地域の教育力

今まさに地域の教育力を学校は必要としています。

「地域ふれあう人」「物」「事」にふれあうことが、実現しようとする環境づくりに思いを誇りに思えるまちを実行していきたいと願っています。

「中須をよりよくする会」の大切な中心は、学校と家庭が含まれて、地域コミュニティ拠点となっています。

中須公民館は、地域の大きな円の中に学校と家庭が含まれています。

中須小・中学校は、地域の教育力（先人の知恵や技術）を注入し、文化の宝庫であり、子どもたちの自然を保存し、全国に誇れる棚田を伝承し、地域に協力してもらいたいと願っています。

三浦　清隆

6月・7月の行事予定

日　時	内　容	場　所	備　考
6月１７日（水） １９:３０～	ウォーキングの つどい	総合運動場 ※雨天の時は、中学校体育館	体育振興会
6月１９日（金） 13:20～14:00	移動図書館 やまびこ号	中須支所	
7月　４日（土）	部団対抗 ソフトバレー大会	中学校体育館	体育振興会
7月１４日（火）	単独老人食事会	防府市	社会福祉協議会

ソフトドッジボール大会
５月１５日（金）
中須中学校体育館
体育振興会主催

中須の人口　６月１日現在

		前月比
男	４２６人	(－１人)
女	４９８人	(－３人)
総人口	９２４人	(－４人)
世帯数	４２４世帯	(－２世帯)
高齢化率	４４.３％	